

## 済州高等学校 コ・\*\*

今回の一週間の九州研修を通じて、より日本を詳しく知ることができ、また、日本語に対してもより近付けるきっかけとなりました。

まず、ホームステイでは現地の方の家で過ごしながら、現地の方たちの生活や韓国とは異なる様々な文化について知ることができました。ホストファミリーの方々が私に対してとても親切に、本当の家族のように接してくださったおかげで、より気楽にホームステイができたように思います。ホームステイをしながら日本語の会話力もかなり上がった気がして嬉しいです。最後にうみたまごでホストファミリーと別れる時は、とても名残惜しい気持ちになりました。「もっとたくさん話をすればよかった」とも思いました。その次からは、一緒に来た先輩たちと合流して中学校、高校に行ったり、観光地やその他様々な所を回ったりしながら、各自の考えや日本に対する観点、関心事を知ることができました。もちろん、この活動中にも日本の文化や韓国と異なる部分を詳しく知ることができました。

初日は昼食に回転ずしを食べたのですが、やはり日本と韓国では寿司の味が違い、とても美味しくいただきました。その次に湯布院に行ったのですが、ホストファミリーと一緒にやってきた所だったので、面白くないと思っていましたが、玲奈さんや先輩たちと一緒にしてみるとまた違った感じがして、行ったことのない所にも広く回りながら美しい風景を感じることができました。ホテルも日本らしい雰囲気があり、とても目新しい所で、くつろぎながら楽しく過ごせました。翌日はかなり詰まった日程で忙しく回ったと思います。中学校と高校に行った時にスピーチがあり、とても緊張した状態で行ったのでミスした部分もありましたが、学生の方たちがとても喜んで迎えてくれたので、本当にありがたかったです。共同学習でも色々な場面で親切にしてくれたので、日本の学校での体験や大分県の有名な観光地、食べ物、特産品などを簡単に知ることができました。また、立命館アジア太平洋大学の留学生の方々にも感謝を伝えたいです。大学に関する情報やキャンパス内について親切に分かりやすく説明して下さり、また、私たちが気になったことを聞いて答えてくださったおかげで、大学についてよく知ることができました。次の日からはほぼ観光でしたが、色々私たちを安全に優しく引率して下さった玲奈さんに本当に感謝の気持ちを伝えたいです。特に問題は起こりませんでした。一緒にいる間、大変なことが多々あったと思います。玲奈さんのおかげで日本にいる間、安全に過ごすことができました。ありがとうございました。そして私たちを目的地まで安全に送って下さった、名前は忘れてしまいましたが、運転手の方、私たちを色々助けて下さり、韓国語ができるというのがとても大きな支えになりました。ありがとうございました。

今回の研修で、日本の大学についてさらに大きな目標を持つことができ、日本文化や様々な部分でより少し近付ける機会になったと思います。また今度このような機会があれば、もう一度参加してみたいです。このような機会をくださった在済州日本国総領事館の関係者の方々にも感謝を伝えたいです。本当に楽しくて有意義な時間でした。ありがとうございました。

した！

### 济州師範大学附属高等学校 コ・\*\*

長々と一週間にわたる日本研修がようやく終わった。期待と不安、そして最近の情勢で日本に行くという負担感も少しは抱きながらの出発だったが、戻ってきて振り返ってみると、思っていたよりも遙かに私にとって様々な影響を与えてくれた旅行になったのではないかなと思う。「研修」のため、当然かもしれないが、一般のパッケージツアーよりも日本の文化をより近くで体験し感じることができて良かった。

到着して初めの二日間は、一般家庭でホームステイをした。ホストファミリーの方々が温かく迎えて、色々としてくださり、本当の自分の家のように落ち着くことができた。個人的に日本に行ったら、こたつに一度は入ってみたかったのだが、こたつでたこ焼きまで焼いて食べられたため大満足だった。その他にも、私がホームステイに行った所は島だったため、日本でも一層特別な経験ができたと思う。島の祭りへ行行って、枝で洗った水(?)にかかったり、ごまだしうどんを食べて、釣りをしたり、島の奥まった所を探検して、日の出を見たりするなど、本当に価値ある時間を過ごした。もちろん、島以外でも色々な体験をした。私が行った時は日本の成人式シーズンだったため、運良く佐伯市の成人式を訪ねることができた。かおりさんの最高のコミュニケーション力のおかげで、成人式を終えて出てきた方たちと写真も撮ることができた。教科書でしか見たことのない華やかな着物などを実際に見て、明らかに二つの国が似ているようでも、文化の違う部分があるのだなと実感した。また、かおりさんの旦那さんの病院へ行ったり、茶道文化を体験したりした。後で知ったが、私の行った所は普通の抹茶カフェ程度で、日本の本当の茶道はもっと堅く厳しいらしい…。ホームステイが終わった後も、決められていたスケジュールに沿って団体で色々な所を訪問した。一番記憶に残っている所は、ドンキホーテとラーメン屋だ。数え切れないほどある特徴的な観光地の中で、なぜよりによってそんな所なのかと思うかもしれない。しかし、この二ヶ所は、私が今のこの情勢にも関わらず日本旅行を本当に楽しみにしていた理由と直結しているため、より特に記憶に残っているのだと思う。ドンキホーテは日本の巨大雑貨店のような所で、ダイソーや韓国の大型マートのような所を想像していたが、少し違った。よりぎっしりした雰囲気薄暗く、本当に四方八方に商品があって、色々な雑貨が売っているのを見ると、まさしく「雑貨店」という言葉が似合うような所だった。よく観光客たちが日本の生活必需品などをお土産として買いに寄るのだという。もちろん私はそこではおもちゃしか見なかった。免税も初めて受けたが、思ったより割引かれたので驚いた。だから中国人たちは免税店に行くのだなと初めて理解した。次にラーメン屋だが、実は私は日本でこたつの次にラーメンに期待していた。期待を裏切らず、初めて本場で食べたラーメンは本当に本当に美味しかった！！たくさんのチャーシューと濃い風味のあるスープ、何よりも不思議な食感の麺が、私を新しい世界に引き連れてくれるような感じがした。学校の給食で出てく

る手抜きの日式とは次元が違う！！このラーメンのためにでも、もう一度日本に来たいと思うほどだった。学校と言えば、この話を書かないわけにはいかないのだが、私たちは研修を兼ねて日本の中学校、高校へも訪問した。高校は私たちと同じ年でもあり、入試などのことでみんなピリピリしていないか心配したが、余計な心配だった。私の足りない日本語力とスピーチにもちゃんと聞いてくれて、本当に私たちを迎えるために準備をたくさんしてくれたのが目に見えて恐縮するほどだった。九州？大分？の名物といういちご大福も作って食べたが、とても美味しかった。ここで私のスピーチについてマスコミ関係者の方々にインタビューを受けたりもしたが、個人的には日本語能力の不足もあり、自分の考えが浅くて満足できる回答ができず、残念に思った。しかし、高校生のみん々が想像以上に親切で、むしろ韓国人だと嫌がられるのではないかと心配していた私自身が恥ずかしく、スピーチで言った言葉を自分から実践できていないのだなと思うと反省した。全国にこういう友達だけいれば日韓関係の未来は本当に明るいはずなのに…。現実はそのとはいかないため、そうなれるよう、今後民間レベルのこのような日韓間の青少年交流が増え、互いをよりよく理解できたらいいなと思った。

次に中学校に行ったのだが、正直中学校は書くことがあまりない。ここは本当にみんなしっかりしていてなんとなく…萎縮してずっと緊張した状態だったため何を話したか覚えていない。若干、たまにある学校の創意的体験活動（教科外授業）のために要員と呼ばれたような気分だった。これからは学校で外部講師の招請講演があれば、居眠りせずにちゃんと聞こう。あの方たちもこんな気分だったのだろう…。

最後に大学も行ったのだが、私たちが普通考える大学とは違う、もう少しグローバルな大学だった。案内して下さった在学生の方が本当に学校に対する満足感が溢れているのが感じられ、説明も十分にしてくださり、私も大学進学についてもう一度考える契機になった訪問だった。戻ってきて、本当に大学進学について考えなければならない時期なのだが、今回の旅行で自分の日本語能力に自信が少し付いたりもし…㍉㍉視野をもう少し広く持たねばと思う。

本当にたくさんの経験をし、たくさん考えた。全て書くことができず残念だが、それでも旅行の経験は私の中に残り、自分の見識と考えを広げられたと思う。機会があれば、次は一人で来たいと思うほど良く、また、為になる旅行だった。このような機会をくれた在濟州日本国総領事館の方々や旅行中助けて下さった玲奈さんや皆さん、ホームステイのホストファミリー皆さんに感謝の言葉を述べてこの文を終えようと思う。

## 濟州中央高等学校 イ・\*\*

今回の九州への研修は、私にとってとても新しい体験だった。研修という目的で日本へ行くことも初めてで、初めて会ったメンバーと共にするものであった分、緊張と負担感が大き

かったように思う。しかし、実際行ってみると、すぐに打ち解けてメンバーともたくさん話ができ、緊張もほどけて安心して行くことができた。

正直九州という所は以前にも一〜二回行った経験があったため、がっかりした部分はなくはなかったが、大分に着くなり考えが大きく変わった。福岡空港を出発して大分に到着してから、一番初めの日程であるウェルカムパーティーで準備してきたスピーチを順番に発表する時間があった。かなり緊張したが、それでもその場にいた方々がよく聞いてくださり、失敗も笑ってくれる雰囲気を作ってくくださったため、緊張もほどけて成功裏にスピーチを終えることができたと思う。ウェルカムパーティーが終わった後、その場に一緒にいたホストファミリーと三日間のホームステイをした。ホームステイをしながら互いの国に関する違いや知識を話し合い、遊園地や神社のようなあまり行ったことのない所に行くことができ、とても良い経験だった。日本の遊園地は初めて行った分、楽しくも目新しくもある経験になり、神社では私の叶えたかった事を祈りもした。初めてホームステイに行った時、気まずいとばかり思っていたが、とても気楽に接してくださるホストファミリーの方たちのおかげで安心して過ごすことができた。いつの間にか最終日になり、ホストファミリーと皆で水族館を観覧して別れながら、とても名残惜しくもあり寂しくもあった。三日という長くもあり短くもある期間のあいだ、新しい家族と友達が出来たような気分だったため、よりそうだったのではないかと思う。ホームステイをこのように終えた後、本格的な日程が始まり、別府のかまど地獄めぐりをしたり、湯布院を観光したりし、その日の夜に立命館アジア太平洋大学の留学生の方たちと一緒に夕食の時間を過ごしたりもした。その場では、留学に関心があるだけに、たくさん質問をし、答えてもらった。次の日は、高校と中学校でスピーチをして、授業も参観するなど様々な活動をした。高校で少だけ一緒になった人と連絡先を交換して友達になったり、中学校で交流会をしてお互いの気になっていた点を話したりもした。中学校、高校での日程が終わった後は、立命館アジア太平洋大学へ向かった。大学は私が想像していた以上に大きい学校で、そこではキャンパス内の案内や学校についての説明を聞き、茶道体験をするなど、多くの体験をした。特に茶道体験が記憶に残っているのだが、それは初めて茶道に接し、茶道について普段見たり聞いたりすることのできない詳しい説明もまた聞くことができたからだと思う。また、進学する大学を悩んでいた私にとって立命館アジア太平洋大学を詳しく知る機会ができたことは、大きなチャンスだったと思う。翌日は、太宰府天満宮に行って参拝をしたり、ドンキホーテやキャナルシティ、アニメイトなどのお店を回って買い物をしたりもした。

いつの間にか最後の日程まで終え、帰る時間になると、とても名残惜しい気分になった。引率者だった玲奈さんは最後まで私たちを見送ったあとに帰られて、私たちも福岡空港から釜山へ行く飛行機に乗る準備をした。釜山を経由して済州へ行く飛行機を待つ間、色々な考えがよぎった気がする。今回の九州研修を通じて、私の希望する大学を決めること

もでき、より成長するための踏み台になったと思う。またこのような機会があれば、もう一度挑戦してみたい。

## 济州高等学校 チ・\*\*

今回の九州研修は、私にとって初めて日本に行くことのできる契機となった。

日本へと向かう道中、迷うことも多々あり、自分が日本人と話すことができるのかという思いと、まだ研修団のメンバーとぎこちなさも感じられ、これから上手くやってくれるのかという心配が大きかった。しかし、日本に到着してから玲奈姉さんに会って日本のコンビニに初めて行ったり、運転席が反対にあることやあちこちが漢字であることをとても不思議に思ったりして、すぐにうきうきした気持ちで胸が高鳴った。

まず先に、私たちは車に乗ってホストファミリーのいる大分県へと向かった。ウェルカムパーティーでスピーチも発表して、ホストファミリーと挨拶も交わした。

ホームステイをしながら、韓国語の分からない日本の方と会話するのがとても大変で頭も痛かったが、私の日本語能力が未熟だということを分かって親切に接してくださり、本当に有り難かった。アフリカンサファリや日本の神社、日本の小学校など、色々な場所へ連れて行ってくださり、心配とは反対に楽しいホームステイを送ることができた。

うみたまごで一緒に時間を過ごした後、ホストファミリーと別れの挨拶をした。次に玲奈姉さんと共に、噴気でいっぱい別府地獄めぐりと宮崎駿の有名アニメ、トトロの背景になった湯布院（どんぐりの森）の散策をした。地獄めぐりでは様々な色の温泉水がとても不思議で、どんぐりの森はこじんまりして可愛い物がたくさんあり、目を楽しませてくれた。その後、大型マートで留学生の方たちと会い、気になる事を聞くこともでき、マートを回った後に一緒に食事もすることができた。

翌日は東明高校と向陽中学校でスピーチをした後、一緒に話をして、準備してくれていた発表を見ることができた。大人ではなく同年代の子と話をしようとする、もっと緊張した。その次に大学探訪した際は、寮や図書館、授業などが留学生を思って作られているのが感じられた。大学について特に考えてはいなかったが、留学生の方の親切な説明のおかげで少し興味が湧いたように思う。

三日目はドンキホーテ、日本の神社、キャナルシティ、アニメイトへ行った。おみくじを引いて、日本のお店で買い物をしながら、日本と韓国はこんなに似ているのだなと思った。ネットでしか見たことのない参拝をすることができて、不思議な気持ちになった。

このように研修を通じて、韓国と似ていながらも違う日本の文化をより感じることができ、現地の方たちとの会話で自分がまだ足りないことが分かり、もっと勉強しなければと刺激になる良い経験になった。